

事業の概要

目的(動機)	令和6年2月に大朝地域住民の共通のビジョンとなる「大朝地域グランドデザイン」を完成させました。これは「大朝グラウンド」や「大朝支所周辺の小さな拠点」など地域資源を有効活用していくため、「わさの輪プロジェクト」のもとに「大朝」「新庄」の役割を明確化し、今こそ「オール大朝」となって住みよく誇れる地域を目指していくものです。このうち大朝地域については「可愛川とわさまちの調和」を実現したいキーワードとし、可愛川を活かしたまちづくりをしていくこととしています。その協議の場として既に「かわまちづくりビジョン検討会」を始動させ、長年懸案となっていた可愛川沿いに繁茂する竹林伐採を広島県に要望し、令和6年度から伐採される予定となっています。そして、竹林伐採後の利用計画として「可愛川かわまちづくり計画」を策定し、「人が集い、賑わいのある空間づくり」として、水辺整備(ミズベリア)を要望していくこととしています。そうしたなか、竹林が伐採されるのは河川用地のみで、隣接の民有地まで繁茂の対応は自主的に行う必要があります。また、伐採後の構想の実現も数年単位の話であり、事業を待っているのはグランドデザインの実現が滞ることが懸念されます。 出来ることから進めていくため、県工事以外の竹林伐採及び将来のミズベリアに向けての樹木植え付け等の簡易整備、そして地域で策定中の「可愛川かわまちづくりビジョン」はブラッシュアップが必要であり、専門知識を持つコンサルの助言、仕上げのもとに完成させたいと思っています。ついては、これにかかる費用の資金確保のため、事業申請を行いました。 取組のアイデア(例)  - 可愛川で川遊び・魚釣り - わさ大橋の横に東屋があり、休憩できる - 地域づくりセンター(児童クラブ)で子どもが学習したり遊んでいる - 支所〜わさーの動線確保・駐車場整備 - こども園の横で子どもたちが遊んでいる - わさ〜るマート前のカフェでお茶する - わさ〜る産直館に大朝米販売コーナー、おにぎり、飯盒炊爨 - 商店街入口に横看板を設置 - 大朝駅〜小学校をスクールバスが走り、子どもたちが行き来している - こども園に通う親子がわさーで買い物している - みんなで使える農産加工所 - 大朝運動公園やクロバードームでスポーツを楽しんでいる - 支所前の河川敷でバーベキュー - 商店街(JR跡地)にチャレンジショップ
---------------	---

事業内容	竹林伐採・簡易整備重機借り上げ、オペレーター雇用費 樹木植樹 わさっさくら公園整備材料 かわまちづくりビジョン作成委託
成果見込	こども園、小学校、中学校が大朝地域に集積されることになったため、子どもの声が響き人が歩きたくなる「水辺空間」を整備することは魅力的であり、隣接のショッピングセンターや産直館、サイクルステーションとの相乗効果によりこの地域に賑わいを創出していきます。また、今後増加する見込みの新庄地域の大朝グラウンド利用者や新庄学園、新庄小跡地利用関係者の移動パターンとして「川下から川上」への循環を作り出すことで、大朝グラウンドデザインが目標とする関係人口・交流人口の拡大に寄与することができます。